

RACING PROGRAM

毎日王冠(GII)
京都大賞典(GII)

2026.10.4

出走馬一覧表

東京競馬場・京都競馬場



凱旋門賞

(G1)

QATAR PRIX DE L'ARC DE TRIOMPHE

フランス パリロンシャン競馬場
日本時間10月4日(日) 23時05分 発走予定

凱旋門賞 (G1)

フランス パリロンシャン競馬場 2,400m (芝) 3歳以上 牡・牝

凱旋門賞の基礎知識 ~歴史&コース紹介~

欧州を代表するビッグレース・凱旋門賞。1920年創設の本競走について、これまでの歴史や舞台となるパリロンシャン競馬場について確認してみよう。

凱旋門賞とは?

欧州最高峰の大舞台

凱旋門賞は、フランスのパリロンシャン競馬場で行われる芝2,400mのG1競走。毎年10月の第1日曜日に開催され、1920年の創設以来、第二次世界大戦中の2度の中止を経て、今年で第105回を迎える。3歳馬と4歳以上馬の強豪が芝2,400mで覇を競う定量戦として世界で初めて誕生した競走で、レース名はパリのシャルル・ド・ゴール広場にあるエトワール凱旋門に由来する。

欧州の芝2,400m路線における年度総決算として定着し、米国のケンタッキーダービーや英国のダービーと並び、競馬に携わるすべての者が憧れる夢の一戦だ。2008年からはカタル競馬・馬術クラブがスポンサーを務め、総賞金は500万ユーロ。欧州で行われる競走の中でも最高額を誇る。名実ともに欧州最高峰の舞台を制することは、日本競馬界にとって長年の悲願となっている。

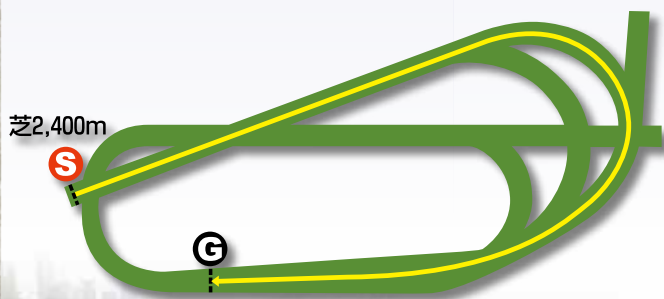
パリロンシャン競馬場とは?

世界のホースマンが憧れる美しい競馬場

パリ西部、ブローニュの森に位置するパリロンシャン競馬場は1857年開設の歴史ある競馬場。凱旋門賞をはじめ、フランスで行われる平地G1・28競走のうち16競走が開催される。凱旋門賞では外回りコースを使用し、レースは右回りで争われる。

最大の特徴の一つが、最後の直線に入る前に設けられた「フォルストレート(偽りの直線)」だ。コース形態は、スタート直後の約400mは平坦、向正面で緩やかな上り坂となり、3コーナー付近を頂点に下りへ転じる。1,000m地点から1,600m地点にかけて約600mで10m下るため、日本の競馬場と比べてもアップダウンは大きい。その後、約250mのフォルストレートを経て、平坦な最後の直線へ。距離は533mで、東京競馬場の直線とほぼ同じ長さだ。

本競馬場で行われた凱旋門賞のレースレコードは2011年、ドイツの女傑デインドリームが記録した2分24秒49。一方、過去10年では2分30秒以上の勝ち時計となった年が5度あり、道悪になれば欧州の競馬場らしく時計が掛かる傾向もある。昨年は、ミカエル・バルザローナ騎手とコンビを組んだ地元フランスの3歳牡馬ダリズがプランスドラージュ賞2着をステップに優勝。日本勢は前哨戦のフォワ賞を勝って臨んだビザンチンドリームの5着が最高着順だった。日本調教馬にとって、今年こそ悲願達成なるか。花の都パリで行われる世界最高峰の2,400m決戦に注目が集まる。(フランス在住競馬ライター・沢田康文)



海外競馬評論家・秋山 響氏による

第105回凱旋門賞 レース展望

海外競馬評論家の秋山 響氏が今年の凱旋門賞を展望します。

連覇を狙うダリズ 他、強力欧州勢に挑む日本馬2頭

今年も非常にレベルの高いメンバー構成になりそうなG1凱旋門賞。その中にあって、最有力候補と見られているのが昨年の優勝馬であるダリズ(牡4歳)だ。今年はG1ガネー賞とG1アガカーンIV世賞(イスパーン賞)を連勝。続くG1プリンスオブウェルズSは3着だったが、レース後の検査で軽いウイルス感染症に罹っていたことが判明した。その後、立て直されて向かった前走のG2フォワ賞ではトレードマークといえる極上の瞬発力を披露して優勝しており、2017、18年のエネイブル、そして牡馬では1977、78年のアレジッド以来となる連覇に向けて、視界は良好だ。

祖父(父の父)にディーピンパクトを持つカルパナ(牝5歳)は昨年の凱旋門賞では7着に終わったが、その後、G1英チャンピオンズフィリーズ&メアズSを前年に続いて制してシーズンを終えた。今年はこれまで4戦して負けたのは短アタマ差の2着だったG2ハードウィックSだけ。2走前のG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSでは昨年の欧州年度代表馬カラダガンを下し、続く前走のG1ヨークシャーオークスも制した。5歳にして完成期を迎えた印象が強い。

3歳馬ではモルティーズクロス(牡3歳)がエース格。3連勝で

臨んだG1英ダービーは重馬場の影響もあったか、2着に終わったが、続く凱旋門賞と同距離同コースのG1パリ大賞では直線で何度もスムーズさを欠きながらも優勝。さらに前走のG2グレートヴォルティジュールSも2馬身差で快勝した。勢いに乗っての参戦となる。

また、G1パリ大賞は4着だったが、ひと夏越して迎えたG2ニエル賞で素晴らしい末脚を見せて優勝したヴァランディール(牡3歳)、G1プリティポリーS4着から一休みを挟んで向かったG2ブランドフォードSを制して復調を示した英オークス馬サンダリングオン(牝3歳)も有力だ。

日本からはメイショウタバル(牡5歳)とアドマイヤテラ(牡5歳)の2頭が参戦。

メイショウタバルは良馬場でも大阪杯(GI)2着の実績があるが、連覇した宝塚記念(GI)は稍重と重馬場。凱旋門賞は馬場が悪化することが多く、道悪適性の高さは心強い。アドマイヤテラは阪神大賞典(GII)と目黒記念(GII)の勝ち馬。距離不足だった前走の札幌記念(GII)を叩いての変わり身を期待したい。はたして日本調教馬初の優勝はなるのか。2頭の走りに注目だ。

主な出走予定馬



● **アドマイヤテラ** 牡5 通算15戦6勝
26阪神大賞典(GII)1着



● **メイショウタバル** 牡5 通算15戦6勝
26宝塚記念(GI)1着



● **ダリズ** 牡4 通算11戦8勝
25凱旋門賞(G1)1着



● **カルパナ** 牝5 通算18戦9勝
26キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(G1)1着



● **モルティーズクロス** 牡3 通算7戦5勝
26グレートヴォルティジュールS(G2)1着

当コーナーの情報は9月24日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性があります。

当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

凱旋門賞 日本馬挑戦の蹄跡

年	馬名	性齢	騎手	調教師	着順	人気	優勝馬
2025年	ビザンチンドリーム	牡4	O.マーフィー	坂口 智康	5	4	
	クロワデュノール	牡3	北村 友一	斉藤 崇史	14	3	🇫🇷 ダリズ
	アロヒアライ	牡3	C.ルメール	田中 博康	16	6	
2024年	シンエンペラー	牡3	坂井 瑠星	矢作 芳人	12	3	🇬🇧 ブルーストッキング
2023年	スルーセブンシーズ	牝5	C.ルメール	尾関 知人	4	5	🇫🇷 エースインパクト
2022年	タイトルホルダー	牡4	横山 和生	栗田 徹	11	1	
	ステイファリッシュ	牡7	C.ルメール	矢作 芳人	14	12	🇬🇧 アルピニスタ
	ディーブボン	牡5	川田 将雅	大久保龍志	18	10	
	ドウデュース	牡3	武 豊	友道 康夫	19	3	
2021年	クロノジェネシス	牝5	O.マーフィー	斉藤 崇史	7	3	🇩🇪 トルカータータツソ
	ディーブボン	牡4	M.バルザローナ	大久保龍志	14	6	
2020年	ディアドラ	牝6	J.スペンサー	橋田 満	8	7	🇫🇷 ソットサス
2019年	キセキ	牡5	C.スミヨン	角居 勝彦	7	6	
	プラストワンピース	牡4	川田 将雅	大竹 正博	11	5	🇫🇷 ヴァルトガイスト
	フィエルマン	牡4	C.ルメール	手塚 貴久	12	4	
2018年	グリーンチャー	牡4	武 豊	宮本 博	17	4	🇬🇧 エネイブル
2017年	サトノダイヤモンド	牡4	C.ルメール	池江 泰寿	15	2	🇬🇧 エネイブル
	サトノブレス	牡7	川田 将雅	池江 泰寿	16	11	
2016年	マカヒキ	牡3	C.ルメール	友道 康夫	14	1	🇮🇹 ファウンド
2014年	ハープスター	牡3	川田 将雅	松田 博資	6		
	ジャスタウェイ	牡5	福永 祐一	須貝 尚介	8		🇫🇷 トレヴ
	ゴールドシップ	牡5	横山 典弘	須貝 尚介	14		
2013年	オルフェーヴル	牡5	C.スミヨン	池江 泰寿	2		🇫🇷 トレヴ
	キズナ	牡3	武 豊	佐々木晶三	4		
2012年	オルフェーヴル	牡4	C.スミヨン	池江 泰寿	2		🇫🇷 ソレミア
	アヴェンティエーノ	牡8	A.クラストス	池江 泰寿	17		
2011年	ヒルノダムール	牡4	藤田 伸二	昆 貢	10		🇩🇪 デインドリーム
	ナカヤマフェスタ	牡5	蛸名 正義	二ノ宮敬宇	11		
2010年	ナカヤマフェスタ	牡4	蛸名 正義	二ノ宮敬宇	2		🇬🇧 ワークフォース
	ヴィクトワールピサ	牡3	武 豊	角居 勝彦	7		
2008年	メイショウサムソン	牡5	武 豊	高橋 成忠	10		🇫🇷 ザルカヴァ
2006年	ディーピンパクト	牡4	武 豊	池江 泰寿	失格		🇫🇷 レイルリンク
2004年	タップダンスシチー	牡7	佐藤 哲三	佐々木晶三	17		🇫🇷 パゴ
2002年	マンハッタンカフェ	牡4	蛸名 正義	小島 太	13		🇬🇧 マリエンバード
1999年	エルコンドルパサー	牡4	蛸名 正義	二ノ宮敬宇	2		🇫🇷 モンジュール
1986年	シリウスシンボリ	牡4	M.フィリップ	二柳俊夫	14		🇬🇧 ダンシングブレーヴ
1972年	メジロムサシ	牡5	野平 祐二	大久保未吉	18		🇫🇷 サンサン
1969年	スピードシンボリ	牡6	野平 祐二	野平 省三	着外		🇮🇹 レヴモス



オルフェーヴル(写真右):2013年



ナカヤマフェスタ(写真手前):2010年



エルコンドルパサー(写真左):1999年

※日本調教馬を対象とした。人気はJRAでの発売(2016年以降)のもの。優勝馬の前にある国旗は調教師

馬券の購入方法、レース視聴方法などは本誌モノクロページおよびJRAホームページにてご確認ください。
発走時刻などは変更となる場合があります。変更情報はJRAホームページでご確認ください。

